

イベント 2017年8月20日実施

参加者約150名にイベントを楽しんでいただきました。

イベント中の様子

北日本新聞記事

ヒント集め、事件、解決



富山市郷土博物館前でパネルを見ながらアリバイをメモする子どもたち

「TOYAMA謎解きミステリーウォーク」が20日、富山市中心市街地で行われた。小学生と家族約150人が、設定された、事件を解決するヒントを集めながら市郷土博物館や老舗の菓子店などを巡り、街に親しんだ。

【webunに写真3枚】

中心市街地の商店主らでつくる「街なか学習プログラム実行委員会」（池田安隆委員長）が、子どもたちを楽しみながら富山の歴史や文化、産物について学ぶ企画した。富山城址公園埋蔵品発掘現場事務所から埋蔵品が盗まれたという架空の物語を設定。

街なか巡り歴史・文化学ぶ

参加者はオリジナルキャラクターの「市立探偵ペロリッチ」の助手という想定で、同市総曲輪3丁目のウエストプラザを発着点に8カ所を巡り、疑わしい4人のアリバイを確かめる。富山の歴史について調べると重要なヒントをもらうことができる。市郷土博物館では、参加者

が正面入り口でパネルに書かれていたアリバイをメモし、展示室に入ってワークシートの答えを探した。

3人グループで参加した大郷笑汰君（同市中央小学校5年）らは「富山の菓業が有名なのは知っていたけど、江戸時代から力を入れていたことは初めて知った」と話していた。

8カ所のうち5カ所は和菓子店やアイスクリーム店などの甘味処。菓子と交換できるチケットがあり、子どもたちは店先でうれしそうに味わっていた。

◇
この記事は、webunで会員以外の方もご覧いただけます。